

昭和二十四年七月十一日

国際ロータリー第六十地区 ガヴァナー 手島知健

ロータリー倶楽部

会長 殿

幹事 殿

拝啓 愈々御健祥の段御喜び申し上げます。扨て私は去る五月三十日東京を出発しまして空路渡米いたし六月二日より十日までレーキブラシツドに於ける国際ロータリーのガヴァナースアツセンブリーに出席いたし、次いで六月十二日より十六日までニューヨーク市で開催された年次大會に貴倶楽部を代表して出席しまして正式にバヴァナーに選挙されて七月四日羽田空港着で帰朝いたし、第六十地区ガヴァナーの仕事を公式に始めることになりました。

皆様のご協力を得ましてこの一年の任期を無事に勤め上げ度いと希望しています。在米中の詳細な報告は来る七月十九日のアツセンブリーでいたします。扨てモンスリーレターが右旅行中のために甚だ延引となりましたがここに第一信を差上げることにいたします。どうかこの書面の主旨が徹底します様にご協力を願ひます。

御承知のように私は何等前例もなく又指導を受ける前任者もない譯でありますので大体本部よりの注意書と私が国際ガヴァナースアツセンブリーで聞いて来た事を基礎として独創的にやつて居る次第でありますから殊更不行届の點があると思ひます。又譯語なども未だ一定したものではありません。ご諒承を願ひます。

一、我々の責任

我々の年(一九四九/五十)は特に日本のロータリークラブに對して最も力を入れなければならぬ年であります。世界の注目をうけていまして各國のクラブは日本のロータリーが何をするかと非常に興味を以て熟視しています。茲に我々の機會があり又責任があると考へるのであります。

二、委員

ロータリークラブの活動は結局その委員の活動如何によるものでありまして委員が強力であり活撥であり實際には仕事をする委員でなければならぬ譯で會員全員が適當な委員の割當をうけられることが望ましいのであります。本部から各クラブに送附されました"COMMITTEE SUGGESTIONS FOR 1949-50"(PAMPHLET NO.20)を夫れ夫れ委員に配布されることを希望します。

三、會計

各會長はクラブ會計の監査を受けられること並びに支拂傳票及會員に對する報告にも夫々監査を受けられてその正確を證明されていることが望ましいと思ひます。

四、地区協議會 (DISTRICT ASSEMBLY)

七月十九日(必要あれば二十日に亘る)東京にてデイストリクトアツセンブリーを開催することはすでにご通知の通りであります。各クラブの會長、幹事の御出席を頂くことは勿論であります。若し御都合がつけば副會長、委員長も御出席が叶えば更に有効であろうと考へます。

五、プログラム

各クラブのプログラムは第一に指導 (AIMS 4 OBJECTS COMMITTEE)がその年度の全体の計畫を建て第二にプログラム委員がその日割及實行方面を定め第三に會長がこれによつて司會をして行くことが必要なのであります。本部より送附された注意書をよく御研究になつて「間に合はせ」のプログラムで「御茶をにごす」ようなことではない様に計畫されることを希望します。

六、半期報告及本部會費納入報告 (SEMI-ANNUAL REPORT OF MEMBERSHIP AND PER CAPITA TAX)

已に御報告をうけたところもありますが今日迄まだ御報告に接しないクラブもあります。これは非常に重要な報告でありますから遅滞なく御送り下さい。

七、出席報告 (ATTENDANCE REPORTS)

六月の報告は前月通りシカゴ本部に直送して頂きましたことと思ひますが七月分から私の手許へ御送りを願ひます。

八、DISTRICT NEWS

第六十地区内の各クラブの活動振りはこの GOVERNOR'S MONTHLY LETTER でなるべく皆様に御通知し度いと思ひますから情報を御知らせ下さるよう願ひます。

九、ガヴァナーの公式訪問

各クラブの都合もあると思ひますから公式訪問の時期を大体来る七月十九日のデイストリクトアツセンブリーで御打合せをし度いと思つております。

この公式訪問は例會に出席して一場の挨拶をするだけが目的ではないのでありまして、アツセンブリーで皆様と少なくとも二、三時間懇談をすることが目的なのでありますから左様な機会を與えられる様に豫め御願しておきます。

尚公式訪問に先ち CLUB VIEW FOR GOVERNOR'S VISIT を出して頂きますがそれと同時に各委員の本年度に対する計畫を書き出して頂くことになっています。又その内容を討議するためにアツセンブリーには會長、幹事の外出来得れば各委員長が出席されるように豫め御打合せを願ひます。

10、各クラブの刊行物

CLUB BULLETIN をはじめその他の各クラブの刊行物は必ず私に一通御送り下さること並にシカゴ本部にも必ず一通御送附下さる様願ひます。日本語の書類でも差支へありません。併し本部には要領丈け英譯したものを添付して下さいれば尚更結構であります。要點は本部で出来る丈け各倶楽部の活動振りを知つていたいといふのであります。御協力をお願いいたします。

11、PUBLIC INFORMATION

各地の新聞其他の刊行物になるべく度々ロータリーに関する記事が出ることはそれだけロータリーの重要性を一般に認識させる意味に於て慥憑され度いのであります。同時にその切抜きを必ず私に御送り願ひます。

12、ロータリー財団—ROTARY FOUNDATION

ロータリー財団は御承知の通り全世界の各會員から米貨十弗の集金をして出来上つているものでありまして會員数×十弗の歳出を完成した倶楽部を100パーセントクラブと稱しております。その最大事業とされている大學卒業生に一年間外國で研究をさせるための奨學金は已に過去三年間に百十一人の二十才より二十八才迄の男女學生に與へられております。来年より三年間に毎年二十五万弗支出することが今年年次大會で決議されました。故来年から少くとも七、八十名宛の學生に對して奨學金が給與されることになると思ひます。

此財団に就ては又詳しく申上げる機會があると思ひます。

今年は日本にロータリーが再開され第六十地区が設定せられた第一年でありまして全世界の注目の下にある最も意義深い年であります。各クラブの會員一人一人の理解と活動を期待すると同時に私がガヴァナーとして諸君と御一緒に来るべき此一年を過すことを欣快と存ずる次第であります。

敬白